

橋本 真之 書 誌

藤井 匡 編

I 作家による

1 著書・展覧会カタログ等

著 書

橋本真之 造形的自己変革—素材・身体・造型思考— 美学出版 2016年

展覧会カタログ等

橋本真之 《運動膜》覚書(1973-1976)

橋本真之 運動膜展 ときわ画廊 1976年 頁なし

橋本真之 [コメント]

橋本真之展(1976-1982) お茶の水画廊 1982年 頁なし

橋本真之 [コメント]

橋本真之展 お茶の水画廊 1984年 頁なし

橋本真之 [コメント]

筑波国際環境造形シンポジウム'85 筑波国際環境造形シンポジウム'85 実行委員会 1985年 55頁

橋本真之 [コメント]

'86 朝日現代クラフト展 朝日新聞社 1986年 29頁

橋本真之 [コメント]

'87 現代美術の祭典野外彫刻展作品集 '87 現代美術の祭典実行委員会 1987年 52頁

橋本真之 [コメント]

橋本真之〈ラ・ベールの木のために〉展 ラ・ベール 1988年 頁なし

橋本真之 [コメント]

日本金属美術作品展'88 日中友好条約締結10周年記念 日本金属美術作家中国展開催実行委員会 1988年 頁なし

橋本真之 [コメント]

野外の表現展 URAWA '88 野外の表現展・うらわ'88 実行委員会 1988年 40頁

橋本真之 《覚書》1989年8月X X III

橋本真之展 アートスペース虹 1989年 頁なし

橋本真之 [コメント]

挑むかたち—サントリー美術館大賞展'89 サントリー美術館 1989年 50頁

橋本真之 [コメント]

作法の遊戯'90年春・美術の現在(パンフレット) (財水戸市芸術振興財団 1990年 頁なし)

橋本真之 私の鍛金

拡大する鍛金 三井安蘇夫とその後継者たち 栃木県立美術館 1993年 65頁

ニュー・ヴィジョン・サイタマ—手わざと現代(ドキュメント編) 埼玉県立近代美術館 1993年

スタン・アンダソン・永山聡子・橋本真之・鶴渕啓子・当館学芸員 談 1992年8月14日 議題「永山聡子の作品について」 頁なし

石川健二・今泉省彦・小久保さわ子・スタン・アンダソン・永山聡子・橋本真之・増淵一夫・当館学芸員 1992年11月11日 議題「スタン・アンダソンの作品について」 頁なし

笹山央・スタン・アンダソン・永山聡子・橋本真之・柳沢敏明・当館学芸員 1992年12月21日 議題「橋本真之の作品について」 頁なし

橋本真之 [コメント]

大分現代美術展'93都市空間への提言—非常識² 大分市 1993年 25頁

橋本真之・上原美智子・河口龍夫・富田康子・藤島俊會・山本秀夫 座談会

かたちとまなざしのゆくえ—美術と工芸をめぐって— (財川崎市文化財団 1994年 10-45頁)

橋本真之 切片群・覚書

橋本真之展 アートスペース虹 1994年 頁なし

橋本真之 [コメント]

第30回今日の作家展 洋上の宇宙 アジア太平洋の現代アート 横浜市民ギャラリー 1995年 7頁

橋本真之 [コメント]

第16回現代日本彫刻展(リーフレット) 宇部市 1995年 頁なし

橋本真之 [コメント]

橋本真之展「果樹園展開」 ライフギャラリー点 1995年 頁なし

橋本真之 [コメント]

橋本真之展「ガラス・銅」 柳沢画廊 1995年 頁なし

橋本真之 [コメント]

ゆう・もあ・あーと大宮 55風の通り道展 「ゆう・もあ・あーと大宮55」実行委員会 1996年

橋本真之 [コメント]

第17回現代日本彫刻展(リーフレット) 宇部市 1997年 頁なし

橋本真之・樋田豊次郎 談 器物の形を巡る心の動き

嗜欲の器展IV「器物と美術」 ギャラリーいそがや 1997年 2-7頁

橋本真之 「揺らぐ日々の中に」—萩美術館・浦上記念館における展示覚え書—

橋本真之「揺らぐ日々の中に」 山口県立萩美術館・浦上記念館 2005年 頁なし

橋本真之 物質との跳躍

〈素材×技術〉からフォルムへ—布と金属— 茨城県つくば美術館 2007年 66頁

『Art & Craft forum』第4号(1996年6月)より抜粋再録

橋本真之 [コメント]

開館30周年記念展II 工芸の力—21世紀の展望 東京国立近代美術館 2007年 78頁

橋本真之 [コメント]

第1回金沢・世界工芸トリエンナーレ 金沢・世界工芸トリエンナーレ開催委員会 2010年 41頁

橋本真之 [タイトルなし]

方法の発露展2012 ギャラリー緑隣館 2012年 頁なし

橋本真之 [コメント] (韓国語)

清州国際工芸ビエンナーレ2013 清州国際工芸ビエンナーレ組織委員会 2013年 242頁

橋本真之 [コメント]

金沢美術工芸大学 教員研究発表展13-15 金沢美術工芸大学 2016年 116, 121頁

橋本真之 出品作品『揺らぐ日々の中に』について 覚書

方法の発露2016—地域性と個人性—批評集 金沢美術工芸大学 2017年 13-14頁

橋本真之 [コメント]

金沢美術工芸大学 教員研究発表展16-18 金沢美術工芸大学 2019年 134, 139, 145頁

橋本真之 「方法の発露2019—制作論の再検討—」に参加して

方法の発露2019—制作論の再検討—記録集 金沢美術工芸大学 2020年 25頁

方法の発露2020—方法の無意識—記録集 金沢美術工芸大学/方法の発露展実行委員会 2021年

橋本真之 運動膜と切片群 7頁

橋本真之・黒川弘毅・藤井匡・渋谷拓 談 セッション1「金属造形の理路」 33-42頁

橋本真之 令和2年度金沢美術公営大学博士後期課程1年 研究制作展を見て

ploonet 金沢美術工芸大学博士後期課程一年研究制作展 金沢美術工芸大学 2021年 68-69頁 g

橋本真之 工芸論の動態

工芸論の動態 ギャラリーO² 2021年 頁なし

2 逐次刊行物

橋本真之 CREATIVE TRENDS

AXIS 第22号 1987年1月 4頁

橋本真之 美術家の教育

絵の具箱からの手紙 第35号 1987年5月 21-23頁

橋本真之 新陳代謝

örβ 通信 第3号 1989年2月 頁なし

橋本真之 茶碗考*

かたち 復刊第11号 1989年〔月未確認〕 16頁

かたち 復刊第14号 1990年7月

橋本真之 談(十川忍 文責) 絶対運動の探求 橋本真之の鍛金造形 3, 5-7, 13頁

橋本真之 「林檎」から「運動膜」へ 4頁

「《運動膜》覚書(1973-1976)」の再録

橋本真之 「覚え書」ノートより 12頁

橋本真之 談(笹山央 進行・十川忍 企画・宮森はるな 記録) 作家研究の試み 橋本真之の理解の地平に挑む

かたち 復刊第15号 1990年8月 2-39頁

橋本真之 金属彫刻を手がけて

ZOCALO [埼玉県立近代美術館] 第35号 1991年5月 頁なし

橋本真之 「アバカノヴィッチ」覚え書*

かたち 復刊第17・18合併号 1991年7月 40頁

橋本真之 「果実の中の木もれ陽、木もれ陽の中の果実」をめぐって

ZOCALO 第42号 1993年1月 頁なし

橋本真之 大分に吹き始めた現代美術の風

かたち 別冊 1993年

橋本真之 果樹園の「奇果」

現代の眼 [東京国立近代美術館] 第476号 1994年7月 6頁

橋本真之 切片群

東京テキスタイルアートフォーラム [東京テキスタイル研究所] 〔号数未確認〕 1994年9月

橋本真之 見に来た人からひとこと

いそがや [ギャラリーいそがや] 創刊号 1995年1月 頁なし

橋本真之 何故今だに分類されなければならないのか?

Art & Craft forum [東京テキスタイル研究所] 創刊予告号 1995年4月 7頁

橋本真之 [アンケート]

工芸 [東京テキスタイル研究所] 創刊号 1995年6月 31頁

橋本真之 覚え書1「風の吹いている草原」*

グラス&アート 第11号 1995年9月 92-93頁

橋本真之 覚え書2「真空に向かう風」*

グラス&アート 第12号 1995年12月 104-105頁

橋本真之 造形の出口—覚え書3「時の集う星月夜」*
グラス&アート 第13号 1996年2月 108-109頁

橋本真之 深井美智子の藤
バスケットリーニュース 第36号 1996年3月 440-441頁

橋本真之 物質との跳躍*
Art & Craft forum 第4号 1996年6月 1-2頁

橋本真之 造形の出口—覚え書4「聖なる歌の聞こえるベッド」*
グラス&アート 第14号 1996年6月

橋本真之 1990-1996 覚え書きより
グラス&アート 第15号 1996年11月 78-80頁

橋本真之 造形の出口—覚え書5「頭と肩との間のはるかな距離」*
グラス&アート 第16号 1996年12月 84-85頁

橋本真之 造形の出口—覚え書6「耳の中の蝉時雨」*
グラス&アート 第17号 1997年2月 112-113頁

橋本真之 造形の出口—覚え書7「崇高な無名者の肖像」*
グラス&アート 第18号 1997年5月 112-113頁

橋本真之 造形の出口—覚え書8「書割の向こうの散歩道」*
グラス&アート 第19号 1997年8月 92-93頁

橋本真之 「素材と身体」鍛金における*
Art & Craft forum 第9号 1997年10月 5-7頁

橋本真之 造形の出口—覚え書9「画家の労作」*
グラス&アート 第20号 1997年11月 82-83頁

橋本真之 談 新島国際ガラスアートフェスティバル—招待作家にきく
グラス&アート 第20号 1997年11月

橋本真之 造形の出口—覚え書10「工芸的なあまりに工芸的な自己変革」*
グラス&アート 第21号 1998年2月 50-51頁

橋本真之 造形の出口—覚え書11「時の礪白の間で」*
グラス&アート 第22号 1998年6月 70-71頁

橋本真之 造形の出口—覚え書12「老いたる麒麟の花」*
グラス&アート 第23号 1998年9月 78-79頁

橋本真之 「凡庸の勝利」モランディ覚書*
Art & Craft forum 第13号 1999年4月 6-8頁

橋本真之 『時の木もれ陽』制作ノート
ZOCALO 第67号 1999年5月 頁なし

橋本真之 筆力という難問*
Art & Craft forum 第14号 1999年6月 7-9頁

橋本真之 関井一夫の手*
Art & Craft forum 第15号 1999年10月 5-7頁

橋本真之 十九歳への返書*
Art & Craft forum 第16号 2000年1月 6-8頁

橋本真之・島添昭義・関根正文 談 クラフトという言葉には毒がない
JCDA [社]日本クラフトデザイン協会 第73号 2000年2月 6-13頁

橋本真之 造形論のために『造形的発端について①』*
Art & Craft forum 第17号 2000年4月

橋本真之 造形論のために『造形的発端について②』*
Art & Craft forum 第18号 2000年7月

橋本真之 造形論のために『造形的発端について③』*
Art & Craft forum 第19号 2001年1月

橋本真之 造形論のために『造形的発端について④』*
Art & Craft forum 第20号 2001年4月

狩野智宏・橋本千賀子・橋本真之・田中康司・奥野憲一・富田康子 談 報告会—作品と作家の言葉は伝わったのか「現代日本の工芸：素材と造型思考」マレーシア展中間報告
ガラス&アート 第24号 2002年6月 27-31頁

橋本真之 造形論のために『方法の理路と素材の運動②』*
Art & Craft forum 第21号 2001年7月 5-7頁

橋本真之 造形論のために『方法の理路と素材の運動③』*
Art & Craft forum 第22号 2001年10月

橋本真之 造形論のために『方法の理路と素材の運動④』*
Art & Craft forum 第23号 2002年1月 6-9頁

橋本真之 造形論のために『方法の理路と素材の運動⑤』*
Art & Craft forum 第24号 2002年4月 12-14頁

- 橋本真之 造形の出口—覚え書 13 「やがて超え行く人に」 *
復刊グラス&アート 第 24 号 2002 年 6 月
- 橋本真之 造形論のために『方法の理路と素材の運動⑥』 *
Art & Craft forum 第 25 号 2002 年 7 月 12-15 頁
- 橋本真之 造形論のために『方法の理路と素材の運動⑦』 *
Art & Craft forum 第 26 号 2002 年 10 月 12-15 頁
- 橋本真之 造形論のために『方法的限界と絶対運動』 *
Art & Craft forum 第 27 号 2003 年 1 月 12-15 頁
- 橋本真之 造形論のために『方法的限界と絶対運動②』 *
Art & Craft forum 第 28 号 2003 年 4 月 12-15 頁
- 橋本真之 造形論のために『方法的限界と絶対運動③』 *
Art & Craft forum 第 29 号 2003 年 7 月
- 橋本真之 造形論のために『方法的限界と絶対運動④』 *
Art & Craft forum 第 30 号 2003 年 10 月 12-15 頁
- 橋本真之・外館和子・富田康子 談 工芸再読の意味
現代の眼 [東京国立近代美術館] 第 543 号 2003 年 12 月-2004 年 1 月 6-8 頁
- 橋本真之 造形論のために『方法的限界と絶対運動⑤』 *
Art & Craft forum 第 31 号 2004 年 1 月 11-13 頁
- 橋本真之 造形論のために『方法的限界と絶対運動⑥』 *
Art & Craft forum 第 32 号 2004 年 4 月 10-13 頁
- 橋本真之 造形論のために『方法的限界と絶対運動⑦』 *
Art & Craft forum 第 33 号 2004 年 7 月 10-13 頁
- 橋本真之 造形論のために『方法的限界と絶対運動⑧』 *
Art & Craft forum 第 34 号 2004 年 10 月 10-13 頁
- 橋本真之 談 造形する眼と身体—私の造形的自己変革
日本臨床美術協会 News Letter 第 9 号 2004 年 12 月 2-13 頁
- 橋本真之 造形論のために『存在の上澄みに向かって』 *
Art & Craft forum 第 35 号 2005 年 1 月 10-12 頁
- 橋本真之・尹熙倉・提髪明男 談 Complex [複合体]—工芸と現代美術—第 1 回 増殖と領域—場とのかかわり—
LR Returns 第 2 号 2005 年 1 月 4-17 頁

橋本真之 造形論のために（終章）『存在の上澄みに向かって②』*
Art & Craft forum 第36号 2005年4月

橋本真之 日常の網の目の中の絶対運動*
現代の眼 [東京国立近代美術館] 第567号 2007年12月 6-7頁

橋本真之 談 橋本真之の造形の理路
Art Design Produce 2007 [筑波大学芸術専門学群] 2008年3月 156-161頁

橋本真之・唐澤昌宏 談 トークイベントから
現代の眼 [東京国立近代美術館] 第569号 2008年4月 6-7頁

橋本真之 現代の造形行為*
ファミス通信 [埼玉県立近代美術館] 第21号 2008年5月 頁なし

須田悦弘・富田康子・新里明士・橋本真之・唐澤昌宏 談 現代工芸を語る 「工芸的造形」の意義と展望
現代の眼 [東京国立近代美術館] 第571号 2008年8月

橋本真之 [レクチャー] 多和圭三・橋本真之・松本健義 [ダイアログ] 造形行為とは何か
美と教育 [美術教育実践学会] 第9号 2011年3月

橋本真之 『木との対話、新たに』を見る*
MAPPING [特定非営利活動法人コンテンポラリーアートジャパン MAPPING 事務局] 第2号 2014年6月
16-17頁

橋本真之 [コメント]
MAPPING 第3号 2014年11月 44頁

橋本真之 金沢に来たこと
美大だより [金沢美術工芸大学] 第28号 2014年11月 4頁

橋本真之 固有の場所に結びついて作品世界が成立するということ
MAPPING 第4号 2015年7月 5-6頁

橋本真之 批評
MAPPING 第5号 2016年10月 2-4頁

橋本真之 《果実の中の木もれ陽》2016年覚書
ZOCALO 号外 2017年3月 頁なし

橋本真之 「批評の契機」に
MAPPING 第9号 2017年11月 26-28頁

金子賢治・橋本真之 談 「工芸的造形」から／への道①
現代の眼 第633号 2019年10月 9-10頁

金子賢治・橋本真之 談 「工芸的造形」から／への道②
現代の眼 第634号 2020年1月 8-9頁

3 新聞

橋本真之 一筆献上 上尾の山
ショッパー 上尾・桶川北本・鴻巣伊奈 1996年7月10日

橋本真之 一筆献上 ノカンゾウ
ショッパー 上尾・桶川北本・鴻巣伊奈 1996年8月7日

橋本真之 一筆献上 青ガエルとの共鳴
ショッパー 上尾・桶川北本・鴻巣伊奈 1996年9月11日

橋本真之 一筆献上 野草との間合
ショッパー 上尾・桶川北本・鴻巣伊奈 1996年10月9日

橋本真之 一筆献上 思い出せない闇
ショッパー 上尾・桶川北本・鴻巣伊奈 1996年11月6日

橋本真之 一筆献上 精神の地層
ショッパー 上尾・桶川北本・鴻巣伊奈 1996年12月4日

橋本真之 印象的な混在の静けさ 韓国・清州国際工芸ビエンナーレに参加して
毎日新聞 2007年10月31日

4 図書

福本重樹 編著 21世紀は工芸が面白い 求龍堂 2003年
橋本真之 [コメント] 19頁
田嶋悦子・熊井恭子・橋本真之・柳原睦夫 談 創作の現場にける「発見」 93-122頁
『PORTFORIO 采／綴 (AYA/TOJI) 大阪芸術大学 染織2000-2001』より再録

橋本真之 「アルス・ノーヴァ」に
「工芸」シンポジウム記録集編集委員会 編 美術史の余白に 工芸・アルス・現代美術 美学出版 2008年 178-184頁

橋本真之 はじめに—奥野憲一という加速器
奥野憲一 KOUGEIの素姿—現代工芸の考え方 神無書房 2009年 7-9頁

5 その他

橋本真之 「放蕩息子の賛意」—十川忍 覚え書
追悼—十川忍 十川忍追悼集刊行会 1992年 23-25頁

橋本真之 ごあいさつ
東京国際ガラス学院2000 東京国際ガラス学院 1999年 頁なし

田嶋悦子・熊井恭子・橋本真之・柳原睦夫 談 創作の現場における「発見」
PORTFORIO 采／綴 (AYA/TOJI) 大阪芸術大学 染織2000-2001 大阪芸術大学 2001年 100-109頁

橋本真之 東京国際ガラス学院の教育

東京国際ガラス学院 1998-2009 東京国際ガラス学院 2009年 頁なし

II 作家について

1 展覧会カタログ等

ヒダカ ムツコ ラ・ベールの木のために

橋本真之〈ラ・ベールの木のために〉展 ラ・ベール 1988年 頁なし

高階秀爾・中野政樹・林家晴三・土屋良雄 談 サントリー美術館大賞展 '89 を語る

挑むかたち—サントリー美術館大賞展 '89 サントリー美術館 1989年 82-85頁

寺門寿明 橋本真之

作法の遊戯 '90年春・美術の現在 VOL.1 水戸芸術館現代美術ギャラリー 1990年 80頁

笹山央 [タイトルなし]

高橋孝一写真展 橋本真之作品「果実の中の木もれ陽、木もれ陽の中の果実」 ギャラリーいそがや 1990年 頁なし

寺田佑 器官としての運動膜

橋本真之展 ギャラリー天竺 1992年 頁なし

青木宏 拡大する鍛金—三井安蘇夫とその後継者たち

拡大する鍛金 三井安蘇夫とその後継者たち 栃木県立美術館 1993年 7-10頁

ニュー・ヴィジョン・サイタマ 手わざと現代 埼玉県立近代美術館 1993年

松永康 序文 4-6頁

松永康 作家解説1—橋本真之 12-34頁

島山耕造 金属とガラスの造形

確かな手応えの追求—金属とガラスの造形展 神奈川県立県民ホール 1993年 頁なし

内山美和子 〈大分現代美術展 '93 都市空間への提言・非常識²〉をめぐって

大分現代美術展 '93 都市空間への提言・非常識² 1993年 大分市 3-4頁

かたちとまなざしのゆくえ—美術と工芸をめぐって— (財)川崎市文化財団 1994年

富田康子 かたちとまなざしのゆくえ 12-14頁

藤島俊会 橋本真之論序説—無限増殖運動の彼方にあるもの 25-55頁

奥野健一 関井一夫論「板に還る鍛金、塊の予感」

関井一夫展 彩陶庵 1994年 頁なし

奥野憲一 漆の現在性

素材と技法シリーズV「漆の現在性」 神奈川県立県民ホール 1994年 頁なし

かたちとまなざしのゆくえ—美術と工芸をめぐって—報告書 (勸川崎市文化財団 1994年

山本秀夫 はじめに—ゆくえしれずのかたちとまなざし— 4-8頁

大澤真幸 工芸的な過剰としての美術 46-63頁

中村英樹 独り立ちの被膜たち 64-76頁

提髪明男 浮上するプロセス 78-84頁

笹山央 展覧会について思ったこと 85-89頁

奥野健一 工芸の現在性—橋本真之論 164-169頁

藤島俊會 キーワード集 ▶橋本真之◀ 139-140頁

三田晴夫 かたちとまなざし—芸術を洗い直す連続個展 161-163頁

『毎日新聞夕刊』1994年1月20日より再録

北澤憲昭 橋本真之

第30回今日の作家展 洋上の宇宙 アジア太平洋の現代アート 横浜市民ギャラリー 1995年 7頁

(無署名) 作品・作家紹介

身近な美の再発見 狭山市立博物館 1995年 頁なし

〔執筆者未確認〕〔タイトル未確認〕

手で見ると彫刻展 ギャラリーTOM 1997年

金子賢治 松本「プラスチック／ジョット・ブルー／輪郭・水のように／窯のモジュール／囲み取って賞でる」ビデオ論

松本ビデオ展 ギャラリー目黒陶芸館 1997年 頁なし

金子賢治 合理的な迷宮—素材の理路と工芸的造形

合理的な迷宮 素材の理路と工芸的造形 マスダスタジオ 1997年 頁なし

金子賢治 現代陶芸の変貌

陶芸の現在的造形展 リアス・アーク美術館 1998年 58-59頁

金子賢治 土塊チップの造形論—高石次郎と工芸的造形

高石次郎展 ギャラリー目黒陶芸館 1998年 頁なし

金子賢治 現代陶芸概論—近代工芸の歴史の中で

日本の現代陶芸 フォースミュージアム 2000年 6-15頁

西村直樹 知覚するかたち

知覚するかたち 福井県立美術館 2000年 12-17頁

北澤憲昭 未成のジャンル

北澤憲昭連続企画 vol.6「工芸的なもの」をめぐって 橋本真之 GALLERY MAKI 2000年 頁なし

現代日本の工芸展—素材と造型思考 ナショナル・ギャラリー, インドネシア 2002年

金子賢治 日本の現代工芸—その現状と課題（インドネシア語） 8-12 頁
今井陽子 橋本真之（インドネシア語） 39 頁

（無署名） [作品解説]

瞑想のための球体 川越市立美術館 2003 年 頁なし

外館和子 内なるかたちを掘り起こす—伊藤正の陶芸
伊藤正展 ギャラリー目黒陶芸館 2004 年 頁なし

今井陽子 外側の線
非情のオブジェ展—現代工芸の 11 人 東京国立近代美術館 2004 年 9 頁

金子賢治 史的岡部嶺夫論序説
青磁を極める—岡部嶺夫展 NHK 中部ブレーンズ 2007 年 12 頁

外館和子 構造としてのかたちとイズムとしての実材表現、あるいは日本的造形史観
〈素材×技術〉からフォルムへ—布と金属— 茨城県つくば美術館 2007 年 6-16 頁

開館 30 周年記念展 II 工芸の力—21 世紀の展望 東京国立近代美術館工芸館 2007 年
唐澤昌宏 「素材+技術+プロセス」が生み出すもの—「工芸的造形」の実践 8-15 頁
金子賢治 日本の近現代工芸の歴史と現代工芸論 106-113 頁
KM [唐澤昌宏] 作家解説 131 頁

奥野憲一 「KOUGEI の素姿」試論 1 回転構造体・重力構造体・装飾構造体について
「KOUGEI の素姿」試論 1 回転構造体・重力構造体・装飾構造体について 東京ガラス学院 2008 年 頁なし

金子賢治 工芸、そして工芸ならざるもの
第 1 回金沢・世界工芸トリエンナーレ 金沢・世界工芸トリエンナーレ開催委員会 2010 年 39 頁

今井陽子 ガラスの冒険
ガラス★高橋禎彦展 東京国立近代美術館 2011 年 6-7 頁

金子賢治 稲崎栄利子について
稲崎栄利子展 ギャラリー目黒陶芸館 2012 年 頁なし

（無署名） 橋本真之「果実の中の木もれ光」

たまもの 埼玉県立近代美術館コレクションより 埼玉県立近代美術館 2012 年 頁なし

金子賢治 なるを見つめる目（「形の意識」）—神代良明の根拠
神代良明展 ギャラリーO² 2013 年 頁なし

金子賢治 近代工芸の機能と表現（韓国語）
清州国際工芸ビエンナーレ 2013 清州国際工芸ビエンナーレ組織委員会 2013 年 8-15 頁

藤井匡 ジャナルの根拠—二重の基準—
方法の発露 2014—ジャナルの根拠— ギャラリー緑隣館 2014 年 頁なし

方法の発露 2016—地域性と個人性— 金沢美術工芸大学 2016年

外館和子 方法の発露 2016 に向けて—実材表現と集団活性の可能性— 頁なし

藤井匡 方法の発露 2016 観察という方法 頁なし

「方法の発露 2016—地域性と個人性—」批評集 金沢美術工芸大学 2017年

外館和子 方法の発露 2016 に向けて—実材表現と集団活性の可能性— 再録

外館和子 北陸の陶芸展 方法の発露 2016—地域性と個人性— 2-3 頁

藤井匡 二つのプロセス—「持続性」と「時間の空間化」— 3-9 頁

高橋明彦 実材主義と観察、不疎通と創造性 20-22 頁

香山桜子 空の下で 28-29 頁

金保洋 顕在化する工芸における個人性とその可能性 30-33 頁

藤嶋俊會 再々考・橋本真之論 金沢美術工芸大学 38-40 頁

藤井匡 方法の発露 2016 観察という方法 再録

藤井匡 本とともに読む

批評の契機展 藤井匡 2017年 頁なし

金子賢治 形の意識と方法—三人展に寄せて

THE CUTTING EDGE 田中信行 橋本真之 神代良明 ギャラリーO² 2018年 2-3 頁

今井陽子 「工芸的造形」への道

パッション 20 東京国立近代美術館工芸館 2019年 頁なし

「方法の発露 2019—制作論の再検討—」記録集 金沢美術工芸大学 2020年

横山勝彦 「方法の発露 2019」展企画担当者として (問題提起) 2-4 頁

金保洋 方法の発露によせて—完成という救い— 31-33 頁

渋谷拓 橋本真之作品の展示について—「方法の発露 2019」に寄せて— 35-37 頁

外館和子 「未完」を求める作家たち—個人作家の時代における制作の連続性と展開のための方法論— 37-38 頁

藤井匡 壊れた道具の制作論 38-41 頁

「方法の発露 2020—方法の無意識—」記録集 金沢美術工芸大学、方法の発露実行委員会 2021年

渋谷拓 「方法の無意識」の企画について 17-21 頁

外館和子 無意識の受容—工芸制作における不確定性の魅力— 21-22 頁

藤井匡 拡張されたフィールドにおける〈方法〉 23-26 頁

黒澤伸 当たり前であたりまえでないこと 27-28 頁

菊池裕子 「方法の無意識」展を「工芸」の無意識の視点から見る 31 頁

森仁史 展覧会の「無意識」 32 頁

藤井匡 『本源的諸問題と作品についてのコメント』を読む

黒川弘毅—彫刻／触覚の理路 不出品作品を含む全作品リスト・論考・展覧会場写真編 武蔵野美術大学 彫刻学科 黒川

研究室 2022年10月 24-29 頁

2 逐次刊行物

(無署名) [山岸信郎] 橋本真之個展

美術手帖 第354号 1972年4月 448 頁

- 福永重樹 金工芸の新世界を求めて
日本美術 第132号 1976年9月 28-35頁
- (無署名) 展覧会
現代彫刻 第60号 1982年6月 18-19頁
- (無署名) 展覧会
現代彫刻 第81号 1984年6月 18-19頁
- (無署名) 鍛金"怪物ランド"
芸術新潮 第35巻第6号 1984年6月 107頁
- (無署名) 展覧会
現代彫刻 第87号 1984年9月 18-19頁
- 福永重樹 金属による造形1
日本美術工芸 第561号 1985年6月 80-84頁
- 福永重樹 金属による造形2
日本美術工芸 第562号 1985年7月 80-84頁
- (編集部) 筑波国際環境造形シンポジウム'85
美術手帖 第551号 1985年10月 178-179頁
- (吉) 金属彫刻に生命感発散する橋本真之
日本美術工芸 第579号 1986年12月 77頁
- (無署名) 橋本真之展
アートビジョン 第14巻第6号 1986年6月 153頁
- 太田垣實 ART'87 関西
美術手帖 第573号 1987年1月 208頁
- 正木基 ART'87 東京
美術手帖 第575号 1987年2月 179-180頁
- (O) [笹山央] 時間の空間化 その壮大なるドラマ
かたち 復刊第3号 1987年7月 38-39頁
- (無署名) 時間の肖像展
かたち 復刊第5号 1988年1月 14-15頁
- (無署名) [寺田侑] 現代美術への誘い 三人の作家の考えること
Seven Seas 第3号 1988年10月 166-169頁

- 笹山央 「自ら然るもの」と成るために
かたち 復刊第7号 1988年7月 32-33頁
- (無署名) 橋本真之の腸大作
芸術新潮 第40巻第1号 1989年1月 86頁
- 三田晴夫 REVIEWS [東京]
美術手帖 第606号 1989年3月 208頁
- 吉賀好之 展評 京都
三彩 第507号 1989年12月 104頁
- 笹山央 装飾回帰
装飾デザイン 第29号 1989年5月 58-59頁
- (無署名) [奥野健一] 現代美術の作品はジャンルを超えて再構築
W ダブルユー・ジャパン 1990年2月 36頁
- 吉賀好之 INSIDE EYE
三彩 第512号 1990年3月 128頁
- かたち 復刊第14号 1990年7月
池宮信夫 針のない時計 11頁
香山桜子 異物の奇怪さと内的な鏡 11頁
宮森はるな 光のつぶ—精神の住まう内的宇宙 11頁
- (無署名) 人物グラフィティ 造形作家 橋本真之さん
日石ルフィン 第66号 1991年4月 8頁
- 寺田侑 言葉の誘惑 橋本真之と高橋孝一
アート 1991年夏号 1991年7月 52-53頁
- (森) [宮森はるな] 橋本真之展
かたち 復刻第21号 1992年8月 29頁
- 奥野憲一 固有の論理持ち得る可能性の示唆
美術の窓 第117号 1992年8月 54-55頁
- 松永康 ニュー・ヴィジョン・サイタマ—手わざと現代—
ZOCALO 第42号 1993年1月 頁なし
- 寺田侑 増殖をくり返し空間を圧倒するボリューム
アサヒグラフ 第3696号 1993年3月19日 92-93号
- 奥野憲一 1992年の美術界をふり返る—工芸の現在—伝統からの脱出
1993年版 現代日本の美術 1993年3月

須部佐知子 美術館〈企画展〉・橋本真之氏の大作の前で
上尾美協 第14号 1993年3月 7頁

三田晴夫 芸術と手わざ 埼玉県立近代美術館「手わざと現代」展より
いけ花龍生 第398号 1996年6月 11-15頁

金子賢治 [タイトル未確認]
1994年版 現代日本の美術 1994年2月

(S) [提髪明男] 言葉・文字・美術 (7)
書道界 第52号 1994年3月 52-53頁

奥野憲一 漆の現在性
月刊美術 第223号 1994年4月 157-160頁

中村英樹 視点システムの変換2 カオスの場からの自己創出
現代思想 第22-6号 1994年5月 292-323頁

関井一夫・三輪和彦・兼田昌尚 談 工芸を語る 虚と実の造形世界
陶子 [彩陶庵] 1994年春号 1994年5月

中村英樹 主体への下降、そして飛翔 メタ皮膚感覚の伏流
現代思想 第22-14号 1994年12月 78-103頁

(無署名) Holbein Color Collection170 絶対運動
美術手帖 第703号 1995年3月 裏表紙

笹山央 身体に根ざしながら世界の中に在る、ということ 工芸の再生のために
工芸 創刊号 1995年6月 21-25頁

奥野憲一 日本の造形論の本質と言語の認識について
グラス&アート 第11号 1995年9月 6頁

(無署名) いろんな顔持つ造形作家は今日も銅板に命をふき込む
YOU 1995年9月25日

重里徹也 橋本真之をめぐる座談会について
工芸 第3号 1995年12月 46-47頁

北川フラム 街づくりに利く一時性 「むかし町モダンアートいけばな展」と「風の通り道展」
RONZA 第2巻第1号 1996年1月 96頁

Art & Craft forum 第3号 1996年2月
畑山典江 鍛金造形作家 橋本真之という人 5-6頁
狩野智宏 生命の果実 6-7頁

金子賢治 スタジオ・クラフトを介してアバカノヴィッチから橋本真之へ—素材相対主義の系譜と克服—
東京国立近代美術館紀要 第5号 1996年2月 77-103頁

水野隆 平成7年度の新収蔵作品について
ZOCARO 第55号 1996年5月 頁なし

笹山央 「素材感覚」について—関井一夫の鍛金の仕事を例に—
かたち通信 第28号 1996年9月20日 頁なし

笹山央 関井一夫さんからの返信—鍛金造形の仕切り直し—
かたち通信 第29号 1996年9月30日 頁なし

奥野憲一 橋本真之の奇果
グラス&アート 第15号 1996年11月 76頁

寺田侑 橋本真之展
礫の組 第1号 1997年3月 p.15

奥野憲一 PALABRADA—造る論理と観る論理(2) ガラスの現在の造形の本質は何処に
グラス&アート 第20号 1997年11月 27頁

グラス&アート 第21号 1998年5月
奥野憲一 工芸の現在性 8-17頁
金子賢治 スタジオ・クラフトを介してアバカノヴィッチから橋本真之へ 36-45頁
『東京国立近代美術館紀要』第5号(1996年2月)より再録

(無署名) 成長する作品「果実の中の木もれ陽」公開制作・設置のお知らせ
MUSEUM NEWS '98 [埼玉県立近代美術館] 1998年6・7月 頁なし

(Que) [奥野憲一] 編集後記
グラス&アート 第22号 1998年6月

(提) [提髪明男] 橋本真之
書道界 第106号 1998年9月 67頁

グラス&アート 第23号 1998年9月
(富) [富田康子] Glass and Art Review
(無署名) 橋本真之「果実の中の木もれ陽」公開制作

田中幸人 現代美術のススメ⑤素材編 叩いて熟する
ファミス通信 [埼玉県立近代美術館] 第6号 1998年11月 頁なし

関井一夫・田中千絵 造形技術としての「鍛金」の周辺
Art & Craft forum 第12号 1999年1月

金子賢治 素材を知りつくした表現者たち
美術手帖 第769号 1999年4月 84-81頁

藤井匡 “おわりなきもの”の意味
てんびょう 第10号 2001年1月 30-31頁

富田康子 工芸オブジェ以後
アートトップ 第190号 2003年3月 66-67頁

KUNSTHANDVERK 1/03 2003年4月 (ノルウェーの美術雑誌)
金子賢治 KORT KERAMIKKHISTORIE
奥野憲一 STILLING SRAPPORT

富田康子 《書評》北澤憲昭「アヴァンギャルド以後の工芸」—あるいは工芸のアヴァンギャルドについて
あいだ 第92号 2003年8月

M.N.[中村誠] 《果実の中の木もれ陽》～橋本真之の生成する造形～アーティスト・プロジェクト①
ZOCALO [号数未確認] 2003年10-11月号

KITCHIN CHIMERA [ギャラリーキマイラ] 第26号 2004年8月
岡本純一・隠崎麗奈・深井聡一郎・藤原彩人・留守玲 談 (インタビュー 提髪明男 文・構成 荒川由紀子) 第一
回出雲・玉造アートフェスティバルに出展して 2-11頁
大岩紀子 Plato de Chimera 14頁

吉村良夫 文明批判から美を問い直そう—時の断層—
視点 第9号 (2004年 [発行月未確認])

Bien (美庵) 第31号 (2005年3月)
三田晴夫 "インスタレーション後"の彫刻 8-11頁
(編集部) 形而下から飛翔する彫刻 27頁

富田康子 スラッシュの位置にシンポジウム「工芸の現場」に参加して
芸術批評誌【リア】 第10号 2005年6月 52-55頁

石崎泰之 「当て盤鉸り」—橋本真之「揺らぐ日々の中に」鑑賞のために—
萩 [山口県立萩美術館・浦上記念館] 第36号 2005年7月 1頁

金子賢治 近代陶芸史叙説要—「工芸」と「craft」をめぐって
東京国立近代美術館研究紀要 第10号 2005年12月 53-68頁

暮沢剛巳 現代美術としての工芸
美術手帖 第882号 2006年6月 60-71頁

奥野憲一 続・橋本真之論—構造と装飾に関する一考察
冊 第0号 2007年2月

〔執筆未確認〕 All around Art Festival in Korea 清州国際工芸ビエンナーレ（韓国語）
月刊美術（韓国の美術雑誌） 第207号 2007年10月

渋谷拓 《橋本真之《果実の中の木もれ陽》これまで／これから》担当後記
平成28年度埼玉県立近代美術館年報 埼玉県立近代美術館 2018年3月 52-53頁

笹山央 美の工房 第15回金属の板を叩き続けて、「自然」に成る 橋本真之さん
土地家屋調査士 第625号 2009年1月

向井周太郎 KOUGEI 観—ものづくりのり・コンストラクション
現代デザイン事典2011年版 2011年3月 1-3頁

MAPPING 創刊準備号 2012年11月

松永康 本誌発刊についてのご挨拶 2頁
松永康 「方法の発露」展解題 3-5頁
室井絵里 「方法の発露」展に寄せて 9-12頁
武居利史 制作を否定する地点から—「方法の発露」展 13-15頁
藤井匡 「方法」を見るための条件 16-18頁
山本秀夫 未来の記憶（編集後記） 19頁

山本秀夫 編集後記

MAPPING 第2号（2014年6月） 18-19頁

MAPPING 第3号（2014年11月）

藤井匡 Foreword: ジャンルの根拠—二重の基準— 2-4頁 再録
松永康 批判と継承—「方法の発露」展の場合 5-8頁
宮田徹也 見果てぬ旅を続ける 9-11頁
石崎尚 反復される境界設定—彫刻のジャンル論をめぐって 12-15頁
武居利史 「美術」の終焉に立ち会いながら—「方法の発露2014—ジャンルの根拠—」 16-19頁
梅津元 〈方法としての言語〉による〈思考の発露〉 20-29頁
荒井直美 「方法の発露2014—ジャンルの根拠—」に寄せて〈見る〉という方法から 30-33頁
横山勝彦 「方法の発露2014—ジャンルの根拠—」展をめぐって 34-36頁
藤嶋俊會 再び橋本真之について—「方法の発露2014—ジャンルの根拠—」を見る 38-41頁
藤井匡 Afterword: 方法が発露するとき 46-49頁
山本秀夫 編集後記 50-51頁

外館和子 北陸の陶芸展 方法の発露2016—地域性と個人性—
陶説 第761号 2016年8月

T.S [渋谷拓] 2000年以来16年ぶりの増殖！橋本真之《果実の中の木もれ陽》
ZOCARO 第81号 2016年12月-2017年1月 頁なし

宮田徹也 展覧会とは何か
MAPPING 第6号 2017年1月 39頁

ZOCALO 号外 2017年3月

渋谷拓 《果実の中の木もれ陽》の未来の姿を夢想するために 頁なし
(無署名) 彫刻ボランティアの方々の声 頁なし

藤井匡 本とともに読む
MAPPING 第9号 2018年11月 41頁 再録

唐澤昌宏 橋本真之「果樹園—果実の中の木もれ陽、木もれ陽の中の果実」
北國文華 第83号 2020年3月 4頁

大坪修也 工芸による造形的自己変革がつくる共感的な場に関する研究 橋本真之の鍛金の実習に着目して
美術教育学研究 第52号 2021年3月 97-104頁

3 新聞

松村寿雄 現代造形の多様性 日本金属造形作家展
サンケイ新聞夕刊 1983年2月18日

(O) [太田垣實] 展評
京都新聞 1986年10月18日

(吉) [吉村良夫] 美術
朝日新聞夕刊 1986年10月22日

埼玉新聞 1987年12月1日
(無署名) あすから「橋本真之の重層空間展」立体造形に“新風”
(無署名) 想像力にアタック!

(無署名) まるで宇宙空間見るよう 浦和で変わった展覧会
朝日新聞埼玉版 1987年12月12日

(無署名) 不思議な芸術作品
読売新聞京葉版 1988年10月24日

(無署名) 銅板たたいて「大作」
朝日新聞埼玉版 1988年12月9日

(無署名) 橋本真之さんが同時展開催
埼玉新聞 1988年12月11日

(無署名) [太田垣實] てん評
京都新聞 1989年10月7日

金子賢治 臨界点に近づく表現の変貌—サントリー美術館大賞展 '89
赤旗 1989年12月24日

(無署名) 「コーポ愛宕」の作品—上尾の鍛金家・橋本真之さんの作

ショッパー 上尾・桶川北本・鴻巣伊奈 1990年5月31日

(無署名) まちが生きかえった12 上尾市仲町・愛宕地区からの報告
埼玉新聞 1991年5月16日

HELENE THIAN Magazine highlights Japan's craft arts
Japan Times 1992年1月26日

(無署名) ひかわ幼稚園に鍛金の作品
ショッパー 上尾・桶川北本・鴻巣伊奈 1992年1月22日

(無署名) 現代美術の情報発信を
毎日新聞埼玉版 1993年1月〔日未確認〕

(無署名) 県内美術家3人の新作展示
埼玉新聞 1993年2月5日

(三) [田中三蔵] 鍛金の可能性と問題点をも示す
朝日新聞 1993年2月23日

(無署名) [三田晴夫] 「手わざ」の再考を促す 埼玉県立近代美術館「手わざ展」
毎日新聞夕刊 1993年3月11日

(俊) [藤嶋俊會] 金属とガラスの造形 古来の素材で新鮮な衝撃
神奈川新聞 1993年7月13日

北澤憲昭 ファンタスティックな体験 金属とガラスの造形展
東京新聞 1993年7月16日

(無署名) 造形作家3人をシリーズで紹介 川崎で現代美術展
神奈川新聞 1994年1月15日

(無署名) 工芸技法の芸術家展 IBM ギャラリー
読売新聞 1994年1月15日

三田晴夫 かたちとまなざし「芸術」の洗いなおしをする連続個展
毎日新聞夕刊 1994年1月20日

(無署名) 空間の軋轢 上尾・立休7人展①橋本真之
埼玉新聞 1994年6月13日

(F) [藤慶之] 展評
京都新聞 1994年10月22日

重里徹也 曲がり角の野外彫刻展
毎日新聞西部版夕刊 1995年9月1日

(無署名) 第16回現代日本彫刻展 連続した同価値の空間
毎日新聞山口版 1995年10月5日

(無署名) 野外彫刻への招待 第16回現代日本彫刻展
毎日新聞 1995年10月13日

(無署名) 輝 現代日本彫刻展4切片群が主張し始め…
宇部時報 1995年10月16日

(無署名) 造形の冒険 第16回現代日本彫刻展から 樹木の中不思議な輝き
毎日新聞西部版夕刊 1995年10月17日

(人) 橋本真之展「行為から生まれた自然形」
読売新聞西部版夕刊 1995年10月20日

藤井匡 現代日本彫刻展を観る8場所に呼応し成長する作品
ウベニチ 1995年10月28日

(無署名) もっと・ユーモア!大宮人 自分のみかたで楽しんで
埼玉リビング 1995年10月28日

[執筆者未確認] ゆう・もあ・あーと大宮55「風の通り道展」開催中
新美術新聞 1995年11月21日

中村誠 大宮をデッサンする〈中〉
埼玉新聞 1995年11月24日

村田真 増える「街の中の美術展」
毎日新聞夕刊 1996年1月5日

(無署名) 変化、増殖する芸術作品 上尾の橋本さん、県立近代美術館で試み
埼玉新聞 1996年5月13日

田中幸人 アートの周辺 まず見て、感じて応援して
読売新聞 1996年5月17日

関根正文 交友録 教育家と芸術家(上)
埼玉新聞 1996年9月20日

藤本幸一郎 第17回現代日本彫刻展 煌 この場所なくしてありえない作品
宇部時報 1997年10月16日

田中幸人 場を奪回する兆し 第17回現代日本彫刻展を見て
毎日新聞夕刊 1997年10月23日

(無署名) 第17回現代日本彫刻展 時と共に変容する空間
毎日新聞山口版 1997年10月25日

藤井匡 第17回現代日本彫刻展 煌く 成長続ける彫刻 12年分の運動の集積
ウベニチ 1997年11月7日

(無署名) オブジェが年ごとに成長
朝日新聞埼玉版 1998年6月9日

(無署名) 成長するオブジェただ今「13歳」―「果実の中の木もれ陽」上尾の作家増殖終える―
埼玉新聞 1998年6月27日

(前) 「ギンザ ギャラリーネット'98」アジアの伝統を把握 西欧とは異なる造形
読売新聞夕刊 1998年7月2日

(無署名) 橋本さんが彫刻公開設置
ウベニチ 1999年5月1日

(無署名) 入賞作を公開設置 彫刻家の橋本さん
ウベニチ 1999年5月8日

(無署名) 彫刻と自然が共演
山口新聞 1999年5月11日

(無署名) 彫刻の公開設置 橋本さんが「時の木もれ陽」
宇部時報 1999年5月11日

牧野一彦 95年の入賞作「時の木もれ陽」 やっと設置場所決まる
毎日新聞山口版 1999年5月12日

(無署名) 設置終え置き土産 現地制作の小品寄贈
ウベニチ 1999年5月13日

林真依子 彩国遊歩「詩(うた)がきこえる」
ショッパー 上尾・桶川北本・鴻巣伊奈 1999年6月9日

(無署名) 大河滔々
埼玉新聞 1999年10月〔掲載日未確認〕

(無署名) 高橋孝一写真展／軌跡 関連
埼玉新聞 1999年11月2日

(無署名) “成長”続ける野外造形
読売新聞埼玉版 2000年10月3日

(無署名) 埼玉県立近代美術館《果実の中の木もれ陽》第3次設置に関する記事

朝日新聞埼玉版 2000年10月〔掲載日未確認〕

石川健次 選 美術この1年私が選ぶ五つの出来事
毎日新聞夕刊 2000年12月12日

石川健次 展評 不断に続く変化
毎日新聞夕刊 2000年12月14日

Chow How Ban ART SCENE "Contemporary look at Japanese art"
Star, April 4, 2002

富田康子 東南アジアで現代日本の工芸展 固定観念への冒険的試み
毎日新聞夕刊 2002年6月12日

J. dewiria utari (J. デウィリナ・ウタリ) 現代日本の工芸—リングに水たまりをつくる雨 (PAMERAN KRIYA
KONTEMPORARY JEPANG Air Hujan yang Menggenangi Apel)
Koran Tempo (インドネシアの新聞) 2002年6月15日

(無署名) 日本では全ての芸術は工芸である (Di Jepang Semua Seni adalah Kriya)
Warta Kota (インドネシアの新聞) 2002年6月15日

(無署名) 明治維新後日本の工芸作家は自らを開放した (Pasca Resrorasi Meiji Seniman Kria Jepang Membuka Diri)
Media Indonesia (インドネシアの新聞) 2002年6月15日

(無署名) 美術展出品作使い平和願う一人デモ
読売新聞茨城版 2003年3月22日

築井有 育ち続ける彫刻
埼玉新聞 2003年11月16日

石川健二 近代工芸の百年展
毎日新聞夕刊 2004年1月20日

三田晴夫 橋本真之展 大浦信行展—さえわたる技巧と作意
毎日新聞夕刊 2004年3月29日

石川健次 多様な造形との実験的な出会い 歴史に根ざした玉造温泉の試み
毎日新聞夕刊 2004年5月24日

三田晴夫 多和圭三／ビル・ウォルフ／橋本真之展 小瀬村真美展 造形の個性、映像の感性
毎日新聞夕刊 2007年5月29日

外館和子 究極の実材主義者の手技 〈素材×技術〉からフォルムへ—布と金属—7
常陽新聞 2007年8月20日

外館和子 素材×技術からフォルムへ—"日本的造形史観"

新美術新聞 8/1・11 合併号 2007年8月1日

井上隆生 分類を超える「工芸の力」—東京国立近代美術館にて記念展
朝日新聞 2007年12月25日

君塚忠男 「工芸のちから」橋本真之氏の作品によせて物質は私をどこに導くのか
埼玉新聞 2008年1月18日

岸桂子 美術館のギャラリートーク 鑑賞より深く楽しく
毎日新聞 2008年2月2日

(無署名) まちから—モニュメントの由来は…
朝日新聞埼玉版 2008年9月28日

菊池正志 鍛金で立体作品
埼玉新聞 2010年10月1日

八木陽介 私の先生
読売新聞 2010年10月3日

菊池正志 成長するオブジェ 橋本さんが上尾で公開
埼玉新聞 2011年9月17日

勇有花子 芸術の枠を超えて多様な表現追及
埼玉新聞 2014年9月11日

藤島俊會 〈まちを彩る〉パブリックアートの世界 果樹園—果実の中の木もれ陽、木もれ陽の中の果実 1978~88年 橋本真之
東京新聞 2015年10月〔掲載日未確認〕

稲賀繁美 書評 異物を抱えた真珠貝の分泌に造形の理路を探る
図書新聞 3282号 2016年12月10日

(無署名) 成長アート高い評価 文化庁芸術選奨大臣賞 上尾の鍛金造形作家橋本真之さん (69)
埼玉新聞 2017年3月9日

増田愛子 銅の造形 樹木と「増殖」20年 心の揺れや体の変調つぎこむ
朝日新聞埼玉版 2017年6月11日

4 図書

昭和の美術 第6巻 51年~64年 毎日新聞社 1991年

笹山央 橋本真之《果樹園—果実の中の木もれ陽、木もれ陽の中の果実》 p.184

金子賢治 昭和五十・六十年代の工芸界 p.198

田中喜男 あとがき

陶彩九谷・革新の系譜 松屋菊五郎・松本佐平・松本佐太郎・松本佐一にみる九谷陶磁史 能登印刷・出版部 1991年

152-153 頁

中村英樹 独り立ちの被膜たち

ハイブリッド・アートの誕生 東西アート融合に向けて 現代企画室 1996年 146-157頁 再録

(編集部) 橋本真之 雪国の杉の下で

大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2000 越後妻有台地の芸術祭実行委員会 2001年 153頁

金子賢治 現代陶芸の造形思考 阿部出版 2001年

現代陶芸論—近代工芸の歴史の中で 10-13頁 再録

器の認識論：近代—その歴史と幻想 50頁 再録

スタジオ・クラフトを介してアバカノヴィッチから橋本真之へ—素材相対主義の系譜と克服 168-169, 189-191頁
再録

土塊チップの造形論—高石次郎と工芸的造形 526-527頁 再録

北澤憲昭 アヴァンギャルド以後の工芸「工芸的なるもの」をもとめて 美学出版 2003年

未成のジャンル—妻有の森の橋本真之 388-392頁 再録

停滞について—橋本真之のチューブ 393-394頁 再録

金子賢治 スタジオ・クラフトと工芸的造形 (Studio Craft and Craftical Formation)

the persistence of Craft, ed. by Paul Greenhalgh "STUDIO CRAFT AND CRAFTICAL FORMATION" A & CB, 2003
pp.28-36

近代工芸案内 東京国立近代美術館 2005年

今井陽子 1990年代 88-90頁

(無署名) 橋本真之《運動膜・切片群》 100頁

大澤昌幸 工芸的な過剰としての美術

美はなぜ乱調にあるか 青土社 2005年 133-148頁 再録

外館和子 二〇世紀造形史における現代陶芸の意義—個的価値の獲得と造形の実在主義—

中村勝馬と東京友禅の系譜 個人作家による実材表現としての染織の成立と展開 染織と生活社 2007年 178頁

『陶説』第610号(2004年1月号) 60-68頁より再録

金子賢治 [解説] 現代の工芸と craft、そして民芸—エドモンド・ドゥ・ヴァールのリーチ論に学ぶ—

エドモンド・ドゥ・ヴァール(金子賢治 監訳 北村仁美 外館和子 訳) バーナード・リーチ再考—スタジオ・ポタリーと陶芸の現在— 思文閣出版 2007年 222頁

大和保男 橋本真之の造形の理路

陶芸作家の造形思考 大和保男の自伝的陶芸私論 私家版 2007年 64-68頁

奥野憲一 工芸の現在性

美術史の余白に 工芸・アルス・現代美術 美学出版 2008年 222-234頁 再録

奥野憲一 KOUGEIの素姿—現代工芸の考え方 神無書房 2009年

「KOUGEIの素姿」試論1 25-26頁 再録

漆の現在性 48頁 再録
日本の造形論の本質と言語の認識について 54-57頁 再録
ガラスの現在の造形の本質は何処に—造る論理と見る論理(二) 69-70頁 再録
工芸の現在性—橋本真之論 80-100頁 再録
橋本真之の奇果 102-106頁 再録
「構造と装飾」に関する一考察—橋本真之論 107-108頁 再録
板に還る鍛金、塊の予感—関井一夫論 134-135頁 再録

北澤憲昭 美術館の時代 1970年代後半～90年代
美術の日本近現代史—制度・言説・造型 東京美術 2014年 791頁

藤井匡 「方法」を見るための条件 『方法の発露』展
現代彫刻の方法 美学出版 2014年 14-20頁 再録

笹山央 造形論的展望
現代工芸論 蒼天社出版 2014年 136頁

今井陽子 橋本真之
日本の20世紀芸術 平凡社 2014年 421頁

諸山正則 橋本真之 果樹園—果実の中の木もれ陽、木もれ陽の中の果実
新版 近代工芸案内—名作選による日本の美— 東京国立近代美術館 2015年 105頁

5 その他

(無署名) [奥野憲一] 橋本真之
美術空間設計 ARTECTO 有楽町西武 発行年記載なし(1990年頃) 頁なし

奥野憲一 工芸の近代から現代へ
工芸現想 創刊号(1991年6月) 7-10 頁なし

奥野憲一 工芸の現在性
工芸現想 第2号(1995年5月) 131-152 頁なし

渡部誠一 橋本真之
現代美術事典90s 水戸芸術館現代美術センター 1997年 149頁

田中幸人 橋本真之 時の木もれ陽
宇部の彫刻ガイド 宇部市 1997年 105頁

笹山央 「現代工芸論」講義録'00 かたち社 2001年
第4講 作家の制作から(1) 橋本真之 [鍛金造形]—鑑賞者の視点で
第5講 作家の制作から(2) 橋本真之 [鍛金造形]—創作の論理

彩の国鑑賞教育研究会 編 美術資料1～3年用 秀学社 2001年
(無署名) 埼玉で活躍する作家たち 5頁
(無署名) 埼玉で活躍する作家たち(教師用解説書) 8頁

香山桜子 橋本真之展

インターネット「創発」レビュー第27号 2011年1月20日

<http://srep.mikosi.com/2010/criticism27.html>

(無署名) 作品解説 橋本真之《運動膜、切片群》

国立美術館アートカード 独立行政法人国立美術館 2011年 28頁

2013年7月に改訂第二版発行

齊藤佳代 作品解説 橋本真之《果樹園—果実の中の木もれ陽、木もれ陽の中の果実》

スコープアートカード集 vol.2 美術出版社 2011年 64頁

さいたま美術展〈創発〉プロジェクト 2009-2011 NPO 法人コンテンポラリーアートジャパン 2012年

松永康 [取材] ギャラリー緑隣館

香山桜子 橋本真之展

藤井匡 完成とは何か 未完成とは何か

藤井匡 橋本真之と貝殻

Search & Destroy 第6号 2021年 17-37頁

<http://cs-lab.zokei.ac.jp/wp-content/uploads/2021/04/SD6.pdf>

森仁史 工芸概念の変遷—(四) 生活工芸

一寸 第88号 書痴同人 2022年2月 82頁

本書誌は、橋本真之に関する文献を以下のとおり構成した。

I 作家による

1. 著書・展覧会カタログ等
2. 逐次刊行物
3. 新聞
4. 図書

II 作家について

1. 展覧会カタログ等
2. 逐次刊行物
3. 新聞
4. 図書
5. その他

ここでは文章のあるもののみを再録し、図版掲載のみ等は原則として割愛した。

なお、作家の著書に所収された文献(改題、改稿などを含む)は末尾を以下のように記した。

『造形的自己変革』美学出版、2016年……*

編集にあたっては作家より提供された資料のほか、以下を参照した。

梅津元 編『ニュー・ヴィジョン・サイタマ—手わざと現代』埼玉県立近代美術館、1993年。